

6学年部会の様子(12月一斉授業研究会に向けての指導案検討)

単元名

明治政府が目指した国づくり

～開国を機に始まる日本の近代化～

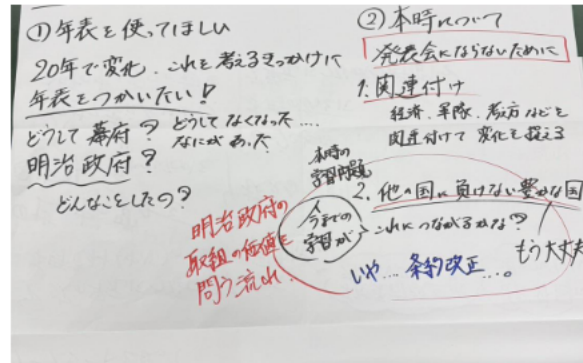
今日は、本時について中心に話し合いました。

単元を見通す学習問題を本気の学習問題として設定すること、本時の終末に次の単元につながる資料を提示することについて検討しました。

授業者は、単元を見通す学習問題のふり返りを丁寧に行うことで、歴史に対する考えを語れる子どもを育てていきたいとのことでした。

本気の学習問題の言葉の捉え方やふり返りの視点の大切さが話題に上がりました。

本時の中で子どもたちが政府の政策と変化について関連付けてるという案も出てきました。。



単元名

明治の新しい国づくり

～陸蒸気を海に通せ! 鉄道から見る日本の近代化～

本気の学習問題に向けて、児童の切実感や話し合う必要性を高めるために、前時までに共通理解しておく内容の確認や、本時における中心資料の検討、鉄道と殖産興業を思考の中で繋げていくために必要な情報の精選などを検討しました。

明治政府の政策が多岐に渡る中で、情報をどのように整理し資料化していく必要があるか、具体的な意見が多く交わされました。

それによって、鉄道、横浜港、富岡製糸場といった事実を近代化とどのように繋げるかを再確認することができました。

